

予算委員会 会議録

日 時 令和7年3月17日（月曜日） 午前9時57分 ～ 午後3時47分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 伊藤 淳	委員 梅田 徳男	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 吉岡 勲	委員 牧 宣雄	

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	平山 博造	政策監（市民担当） 兼福祉保健担当	柴田 監
政策監（インフラ担当）	高野 裕之	政策監（産業担当）	姫野 敬一
政策監（野津地域振興担当） 兼市民生活推進課長	川野 徳明	教育次長兼教育総務課長	佐藤 忠久
水道事業所長 併上下水道課長	齋藤 隆生	消防本部消防長	亀井 英樹
総務課長	佐世 善之	財務経営課長	荻野 浩一
財務経営課参事	吉良 猛	秘書・総合政策課長	安東 信二
秘書・総合政策課参事	内藤 健治	地域力創生課長	望月 裕三
防災危機管理課長	那賀 啓史	市民課長	寺本 政浩
税務課長	尾本 浩	環境課長	藤澤 清巳

部落差別解消推進・

人権啓発課長

齋藤 正雄

保険健康課長

川辺みさこ

高齢者支援課長

安藤 隆文

子ども子育て課長

竹尾 幸三

福祉課長

大戸 敏雄

都市デザイン課長

村上 和

都市デザイン課参事

広瀬 隆

建設課長

小坂 郡師

産業観光課長

山木 哲男

農林振興課長

目原 康弘

農林振興課参事監

竹尾 智明

契約検査課長

小野 憲吾

会計課長

瀧澤 愛

消防本部総務課長

中尾 敬

その他関係職員

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英

次長 二宮貴司

主幹 原 伸行

書記 大井智香子

傍聴者

(な し)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 2 8 号 (原案)	令和 7 年度臼杵市一般会計予算	原案可決
第 2 8 号 (修正案)	令和 7 年度臼杵市一般会計予算	修正案 否決
第 2 9 号	令和 7 年度臼杵市水道事業会計予算	原案可決
第 3 0 号	令和 7 年度臼杵市下水道事業会計予算	原案可決
第 3 1 号	令和 7 年度臼杵市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第 3 2 号	令和 7 年度臼杵市介護保険特別会計予算	原案可決
第 3 3 号	令和 7 年度臼杵市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決

午前9時57分 開議

○委員長（匹田 郁）

定刻前ではありますが、全員おそろいのようなので、ただいまから予算委員会を開催いたします。傍聴については、申出があった場合のみ、許可したいと思いますので、ご了承ください。これより議事に入ります。3月13日に本委員会に付託されました議案は6件であります。なお、一般会計と特別会計、全ての説明と質疑終了後に一般会計から順次、討論採決を行いたいと思いますので、よろしくお願いします。本日の委員会は、お手元に配付しております委員会次第により進行いたします。また、質疑及び答弁を行う場合の挙手についても、徹底をお願いいたします。初めに、第28号議案、令和7年度臼杵市一般会計予算を議題といたしますが、申出により、最初に、財務経営課長から当初予算全体に関わる説明をお願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

（ 令和7年度 当初予算の概要説明資料 4～10ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

ご苦労さまでした。それでは、消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防長（亀井英樹）

おはようございます。消防長の亀井でございます。それでは、令和7年度当初予算に係る消防本部所管分の重点事項につきまして、担当の中尾総務課長からご説明させていただきます。

◎消防本部総務課長（中尾 敬）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 11ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

おはようございます。よろしくお願いします。大きなほうの資料の130ページ、9款消防費、1項消防費の中の5災害対策費の18節負担金補助及び交付金の中で、避難通路整備事業補助金100万円というのが計上されてると思うんですけども、どれくらい実績があるのか、お願いしたいんですけど。

◎財務経営課長（荻野浩一）

河野委員のご質問の避難通路ですけど、これは防災危機管理課の所管になります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（平川幸司）

1つだけ、2番3番で消防団の費用を上げてるんですけども、今、消防団が減少しています、それについての今後の対策等がありましたらお願いいたします。

◎消防本部総務課長（中尾 敬）

平川委員のご質問にお答えします。現在、全国的に消防団員の確保が非常に難しい状況となっております。臼杵市としましては、年々消防団員の数が減ってきております。それを何とか維持してするための活動としましては、消防庁舎に消防団員募集の横断幕を張ったり、成人式のおきまして、消防団員募集のパンフレットを配布して、若い方に興味を持っていただくということをやっております。また、ケーブルテレビや市報、ホームページを活用した団員の募集、そして、商工会議所で4月に実施している市内各事業所の新人職員が集まる研修がございますので、その中で1コマいただきまして、消防団員活動についての説明、PR等をして団員募集、団員の増員につなげていきたいというふうな活動をしております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時14分 休憩

午前10時16分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、総務企画関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎総務課長（佐世善之）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 12～15ページに基づき説明 ）

◎財務経営課長（荻野浩一）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 12～15ページに基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 12～16ページに基づき説明 ）

◎地域力創生課長（望月裕三）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 13～17ページに基づき説明 ）

◎防災危機管理課長（那賀啓史）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 13～18ページに基づき説明 ）

◎市民生活推進課長（川野徳明）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 13～18 ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

予算書 55 ページ。職員手当等の中で会計年度任用職員の期末勤勉手当の金額なんですが、何人分で支給される予定でしょうか。いつぐらいにも分かればお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員のご質問にお答えをいたします。令和 7 年度につきましては、253 名を予定しております。勤務形態によっては、期末勤勉手当の支給にならない方もいらっしゃいますけども、原則 253 名の方が対象ということでございます。

○委員（河野 巧）

いつぐらいに支給予定かも併せてお願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員のご質問にお答えいたします。会計年度任用職員については、基準日が 9 月末と 3 月 31 日になっておりますので、半年経った後の 10 月の初めと年度始めの 4 月ということになります。支給時期はそういった時期になります。

○委員（河野 巧）

同じページの 7 番。報償費で講師謝礼が計上されているんですが、こういった人数で、延べ人数でもいいですし、こういった方が講師になるんでしょうか、お願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前 10 時 50 分 休憩

午前 10 時 52 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

河野委員のご質問については、後ほどまた改めてお答えしたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（奥田富美子）

4点お願いします。歳出の20番、第2庁舎解体と駐車場整備ということですが、この金額の内訳を教えてください。歳出26番、サウスライナーのところの補助ですが、今3便しかなくて、早朝と多分遅い時間がなくて、ちょっと不便かなと思うんですが、今後の展開で分かることがあったら教えてください。それと、30番の指定管理の委託料ですが、指定管理に含まれるものの費用を教えてください。金額の詳細は結構です。あと、36番の自治会連合会の活動の補助のところは、全部が保険料補助となっておりますが、自治会で活動するときの全ての活動がカバーされているのかどうかを確認したいです。以上です。

◎財務経営課長（荻野浩一）

奥田委員のご質問のうちの第2庁舎の解体の内訳といいますか、もうここに書いてるんですけども、第2庁舎の解体、きずなが入っていたところの建物の解体と解体した後に駐車場整備、舗装するというお金で3,455万7,000円ということになります。

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

奥田委員のサウスライナーの件についてお答えいたします。サウスライナーは、委員がおっしゃるとおり今1日3便しかありませんので、非常に使い勝手が悪い状況となっております。3便になった原因なんですけれども、大分バスと大分交通が運転をしてるんですが、運転士不足で路線バスに支障が出るということで、こちらのほうにちょっと回せないという状況が昨年度から発生しております。乗車人数なんですけれども、1便に3.5人以下になると、ちょっと運行を考えるような感じになるんですけれども、コロナ禍の令和2年は1.5人とかいう状況でした。しかし令和3年度から3.2人、令和4年度が4.5人で令和5年度が7.1人と、一定数の人がいらっしゃいますので、これは大分空港と県と佐伯市とやっている事業なんですけれども、臼杵市としては、便数を増やしてもらう要望を引き続きやっていきたいと思っています。以上でございます。

◎地域力創生課長（望月裕三）

奥田委員のご質問の地域力創生課所管分についてお答えします。まず30番のコミュニティセンターの指定管理委託料に関しましては、経費の内訳ということでございますが、主な内容としては人件費及び光熱水費、消耗品等の事務費、そして軽微な修繕料を含んでいる、以上です。続きまして、36番の自治会連合会の活動保険に関しましては、基本的に自治会が実施をする区役等の作業等でけがをされたときの補償というようなものが主なものになっております。全てのものというようなことだったんですが、例えば、区長さんが市報等をお配りしている際にけがをすとか、そういった場合は、区長のまた別の保険で市が対応するような、そういった形になっております。以上です。

○委員（奥田富美子）

先ほどの第2庁舎のところですが、駐車場の整備にも多分お金がかかると思うんですが、解体と駐車場整備との内訳を教えてください。それと、最後の保険のところですが、全部がカバ

ーできていないということだと思うんですが、例えば個別、地域の人が参加するレクリエーション的な時には、また別に、その都度保険を掛けていると思ってよろしいですか。

◎財務経営課長（荻野浩一）

奥田委員の質問にお答えします。積算の上では、解体、舗装その他フェンスを張るんですけども、そういったものを一式で出してますので、奥田委員が今言われるように個別というのは、設計書手元にありますが、案分でお答えさせていただきます。解体工事が1,687万5,000円、舗装とフェンスが1,768万2,000円です。

◎地域力創生課長（望月裕三）

奥田委員の質問にお答えします。保険のイベントごとの加入ということなんですが、基本的には自治会の活動に関しましては、年間にまとめて加入をいただくということで、先ほど区役等の対象ということだったんですが、当然地域で行われるお祭り等も自治会が実施をするイベントに対しては該当になる、そういったものでございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（匹田久美子）

16ページの歳出24番、多世代交流館運営事業について、もう少し詳しくお聞きしたいです。具体的には、施設管理経費の主なものはどういうものがあるのかということと、PR経費は、どんなやり方でPRするつもりなのか。イベント委託については、もう委託先が決まっていれば、そちらを。決まっていなければ、どういうやり方で委託先を選ぶのか教えてください。

◎秘書・総合政策課参事（内藤健治）

匹田委員のご質問の多世代交流館の運営につきまして、先ほど、安東が説明しました、808万円の内訳の中に入る費用ですが、光熱水費、これは建物電気代、水道、下水、そういうものが入ります。あと、施設の管理委託です。この前、河野委員の一般質問の答弁でもお答えさせていただきましたが、シルバー人材センターに委託を考えておりますので、その経費があります。建物全体の保守点検。建物が大きいので、保守点検が当然必要になりますので、その経費とあと警備委託です。今、セコムを入れてますので、そのセコムの使用料等、そういうものが入って800万円になります。広告印刷、イベント実施の委託料につきましては、当然皆さんに周知する必要がありますので、フリーペーパー、雑誌等の広告代、それと印刷製本、パンフレットとかチラシ・ポスター等を作成して市内の認定こども園、子供さんがいるような施設、開放時に大分市、佐伯市、豊後大野市のところから、多くの方に来ていただいておりますので、そういうところのこども園等も、平日であれば使えますので、そういうところへの周知。イベントの実施につきましては、委託先等は現在ありません。以上であります。

○委員（匹田久美子）

イベントの委託先は、今後どのように決めていけますか。

◎秘書・総合政策課参事（内藤健治）

ここは、多世代交流館という名前でも幅広い方に使ってもらいたいんですね。そういう中で実際のところ、使用料も取るようになっていきますので、例えばイベントをした場合に、夏祭りとかであれば、今度からは、するほうから料金を頂くような形になります。いろいろ地域振興協議会だとか商工会の青年部・女性部、いろんなところから使いたいという声もありますし、こども園の方からも要望等もいただいていますので、そういうところの声をいただきながら、季節ごとにそういうイベントができればな、というところでは考えております。具体的に言うと、昨年、夏休み親子子供教室なども開催してもらっていますので、そういうところのニーズに沿ったような形のイベントができればなというところでもあります。

○委員（匹田久美子）

市民にも広く知らせて、こういうことがあの場所でありたいと思っている人が、手を挙げやすくなるようにしていただきたいなと思っています。あと、もう1つすみません。その他特財の60万円というのは具体的にどこから入ってくるお金ですか。

◎秘書・総合政策課参事（内藤健治）

匹田委員の再質問にお答えします。周知については、幅広く行いたいと思っています。この前の河野委員の一般質問で、SNSを活用してという話をさせてもらったんですが、インスタグラムのほう、10日ほど前に開設して、現在300名ぐらいの方がフォローしてもらっていますので、そこら辺も幅広くしたいと思っています。60万円の歳入に関しましては、条例に沿った形で積算、6月から12月までに、民間の方々にお使いいただいたところをベースに積算したところ、そのぐらいが見込めるかなというところで積算しています。以上であります。

○委員（広田精治）

総務課長と市民生活推進課長がおられるから、この重点事項の中に入っていないので、お聞きしますけど。昨年、10月以降、野津庁舎の市民生活推進課のほうで、リモートを使った実証実験を続けてますよね。その中で起こっていることなので、これは、先日もお伝えしたんですけど、相談者の背後を来訪する市民の方々に、リモートのやりとりが筒抜けになっているので、これではなかなか相談が大変だということです。この前、総務課長も言ってましたけども、何とか、そのブースを設置するとか、個室的なですね。そういう対応を考えているということだったんですけども、それは今回の予算に入っているかどうかお答えください。

◎市民生活推進課長（川野徳明）

広田委員のご質問にお答えいたします。当初予算、先ほど野津庁舎の相談室のエアコン設置ということで計上させていただきましたが、秘密時の相談等の場合には、その部屋を使っていたきたいということで、その部屋にエアコン等が設置しておりませんので、それを設置した上で使用していきたいと考えているところです。以上です。

○委員（広田精治）

今、リモートが2か所、3か所ですかね、設置されてますよね。それぞれに対応できるよう

な形を考えていますか。

◎市民生活推進課長（川野徳明）

その部分、窓口に来た分については、そこまではまだ。つい立て等でまた考えていく必要性はあると考えておりますが、取りあえずは、秘密時の相談などのために、今回は当初予算として、エアコンの設置をお願いしているところであります。以上です。

○委員（広田精治）

実証実験やってる中で起こってるというか、課題になったので、ぜひ検討をしっかりとやってほしいなと思います。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

先ほど、奥田委員の関連質問なんですけども、予算書５９ページ、先ほど言っていました、コミュニティセンターの指定管理委託料なんですけども、これまで南野津と田野のほうは、公民館的な要素もあったので、市のほうでいろんな事務作業を行っていると思うんですけども、新たに指定管理となると、ちょっと事務量も増えたりする場面があると思うんですが。その辺、これまで、それぞれの指定管理先がやってたと思うんですけど、何かこう白杵市全体で、そこを管理するものっていうのは、この予算とかでは検討はされたんでしょうか。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員のご質問にお答えします。今回、直営の地区公民館がコミュニティセンターになるということで、職員の業務量が増えるんじゃないかということなんですけど、実際のところ、職員の自分たちの給与の計算であったりとか、あとは管理に関する契約とかそういったものは、確かに若干増えてくるというふうに感じております。現在、ちょうど移行期間中ということで、準備をしているところですが、それら事務については、既に管理を行っている他のコミュニティセンターと情報交換をしながら、また、職員もサポートに入りながら、随時順調に問題なく移行ができるように進めております。また、全体的な管理の場ということですが、これにつきましては、現在行っておりますブロック別連絡会が情報交換の場と意見集約の場というふうに捉えておりますので、野津地域、白杵地域のそれぞれの連携ブロック会議のほうを通じて管理の徹底をしていきたいと思っております。以上です。

○委員（河野 巧）

労務関係とか、そういったのを白杵市全体の中の地域振興協議会でこれから指定管理が増えるとなると、そこを一括で業務委託とかができればいいのかなと思ったので、質問させてもらいました。

続いて、６２ページの総務管理費の中の高校生バス通学用定期券購入助成金についてです。例年と比べて、人数が増えているのか減っているのか、４月から管内が２００円でバス通学になる人もいるかなと思うので、その辺上下があればお知らせください。

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

河野委員の高校生のバス通学用定期券の助成金についてお答えいたします。この当初予算を計上する段階では、先ほど河野委員が言われました、バスの1乗車200円ということが、まだ決まっておりませんでした。その後、バス会社と協議が整いまして、市内はどこでも1乗車1つのバスに乗ったら200円ということが決まりましたので、野津から白杵駅までが、月に大体7, 200円ぐらいになります。ということで、今は1万円をオーバーした分を補助しては、来年度、状況を見て最後の補正で減額というふうには考えております。人数につきましては微減ではありますが、来年度についての内訳は、この間入試が終わったばかりですので、把握していない状況です。以上です。

○委員（河野 巧）

ありがとうございます。続きまして64ページ、市営駐車場管理委託料なんですけども、どの辺りの駐車場なのか、最近、土地も購入されたりしてるんで、全体的にほかの課のところまで行く部分もあるかもしれないですけど、全体的に市営駐車場としての管理は、どこの市営駐車場になってるのかというのと、今後、駐車場が増えた場合、そこは、再度補正予算を組む予定でしょうか。お願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

河野委員の質問にお答えします。ここに計上してる分は、稲葉家下屋敷前と畳屋町駐車場、いわゆる市営駐車場の2か所分なんですけども、今回、令和6年度中にいくつか駐車場を整備するというふうな話で、そのうちの管理はどうするという話なんだろうけれども、その分の経費については、今度令和7年度の当初予算では上がっておりません。今後についてもまだ検討中ということになります。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

一番最初フライングぎみに質問した、防災危機管理課のほうの道路の補修費用につきまして、こういった積み上げをしているか教えてください。

◎防災危機管理課長（那賀啓史）

河野委員のご質問にお答えいたします。避難通路整備事業補助金のことだと思いますけれども、避難通路整備事業補助金として、令和6年度は2件支出しておりまして、合わせて31万9,081円を支出しております。以上です。

○委員（河野 巧）

今回100万円ですかね、予算を上げているということで、実績的には2件で31万円ってことなので、要望があっているのか、その辺をご説明をお願いします。

◎防災危機管理課長（那賀啓史）

河野委員のご質問にお答えいたします。本年度は、2件の31万9,000円ということですけども、令和4年度、令和5年度につきましては、100万円の予算に対しては、予算に近い形で支出をしております。たまたま今年度は31万9,000円というふうになっていると思っております。来年度につきましては、特に令和7年度にお願いするというような地区からの要望は、今まだ聞いておりませんが、予算100万円に対して、こちらでも啓発していきながら、補助金の支出に備えていきたいと思っております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（梅田徳男）

防災行政無線の保守管理に関連してなんですが、本当に重要な設備ですからしっかり保守管理をしていただきたいんですが、聞こえづらい聞こえにくいという、非常に苦情の多い設備です。この保守点検の中で、そういう改善も図られるという計画が入っておりますか。お願いいたします。

◎防災危機管理課長（那賀啓史）

梅田委員のご質問にお答えいたします。保守管理費用については、そういった聞こえづらいとか、例えば天候によって全く聞こえませんかという形のものについては、調査するとかいう形ではなくて、機器の保守という形のものになっております。市民の方からも、そういったお話を聞く機会もございますので、こちらも解消ができるように、保守管理委託料とはまた別になりますけれども、考えていきたいと思っております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で総務企画関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午前11時19分 休憩

午前11時29分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

先ほど総務企画関係で、河野委員から質問のありました、予算書55ページの講師謝礼の内訳です。まず職員研修の講師としまして23回分。内容としては、一般の研修、ハラスメント

研修、メンタルヘルス研修等々合わせて23回分です。あと、男女共同参画セミナーとしまして、講師4回分と企業の研修会8回分、16万5,000円。合わせて22万8,000円を予算計上しているところであります。以上です。

○委員長（匹田 郁）

次に市民関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎市民課長（寺本政浩）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 19～20ページに基づき説明 ）

◎税務課長（尾本 浩）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 19～20ページに基づき説明 ）

◎環境課長（藤澤清巳）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 19～21ページに基づき説明 ）

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（齋藤正雄）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 21ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明は終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（安東鉄男）

環境課にパークゴルフについてお尋ねいたします。昨年、質問で来場者数は大変好調であると伺ったんですが、年を越えて冬に差しかったんですが、依然好調であるかどうか、ということと、土日と平日の大体の数。それから、会員の数がさらに伸びているかどうか、お尋ねしたいと思います。お願いします。

◎環境課長（藤澤清巳）

安東委員のご質問にお答えいたします。昨日、3月16日現在のパークゴルフ場の来場者数は7,613人となっております。当初の予定が1年間で6,600人を見越しておりましたので、この6か月半で6,600人は、かなり上回ったような状況になっております。会員の方につきましても、当初目標100人を予定しておりましたが、現在は235人というところになっております。それと土日の差ですけども、平日は大体50人から60人程度。土日の天気のよい日には、100人を超えるような状況になっております。あと、雨の日あたりは極端に減りますけど、雨が上がるとすぐ増える、というような状況になっております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（平川幸司）

20ページの7番の猫の助成金のことです。大変ありがたい制度なんですけど、2つ質問させていただきます。1つは、地域猫活動団体等が対象と書いてあるんですが、これは個人でもいいの

かということと、助成額は1頭について、雄が5,000円、雌が1万円。雄でいうと実際の手術が幾らなのか、雌は大体幾らくらい分かればお願いします。

◎環境課長（藤澤清巳）

平川委員のご質問にお答えいたします。この助成を受けられる、手術を受けられる方につきましては、先ほど説明申し上げましたとおり、市内に住民票がありまして、18歳以上で構成された地域猫の活動団体ということで、個人ではできないようになっております。また先ほど雄が5,000円、雌が1万円というふうに助成額説明しましたけども、大分県の平均的な手術費用が、雄は1万円、雌が2万円ということで、2分の1補助ということではないんですけども、おおむね2分の1程度になっているということでございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（匹田久美子）

先ほどの猫の不妊去勢手術の助成金のところで、雄50頭、雌50頭を超えて要望が出た場合は、もう、そこまでですというふうに切るんですか。

◎環境課長（藤澤清巳）

匹田久美子委員のご質問にお答えいたします。今回は不妊去勢手術ということで助成金を設けておりますけども、このほかにも、さくら猫プロジェクトの部分があります。これまで、いろんな活動団体と協議をさせていただいて、年間170頭。過去の実績も含めて見込んだ中の、今年度については、さくら猫で70頭程度はいけるんじゃないかなろうかといったところの、この助成で100頭というふうに組んでおりますので、当初はこの予定で令和7年度は実施したいというふうに考えております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

安東委員の関連です。先ほどのパークゴルフの関係で、来場者数と会員数は分かったんですけども、市内市外の比率が分かれば、お願いしたいところです。

◎環境課長（藤澤清巳）

河野委員の質問にお答えいたします。市内の方が全体の約4割、大分市の方が大体5割、残りの1割がそれ以外ということになります。ただ、当初の頃はそういった形ではあったんですが、最近では、利用者数も増えてきてまして、市内の方が6割ぐらいまで上がってきています。かといって、大分市の方の人数が減ったわけではないんですけど、市内の利用者が増えてきているというのは、動向として確認しております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

もう1点、年間フリーパスの会員権を買った方の比率もそれぐらいですかね。

◎環境課長（藤澤清巳）

河野委員の質問にお答えいたします。すみません。比率については、今、確認できておりませんので、また改めて報告させていただきます。よろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（安東鉄男）

環境課をお願いします。土日に大変多くて、平日がちょっと少なめだというお答えだったんですが、一緒に行った人の話を聞くと、安過ぎるんじゃないかと、料金が。料金を土日と平日でちょっと変えて収入につなげるとか、今後、意見検討も必要があるんじゃないかなと思います。もし、そういうことをちょっと頭に入れておいていただければと思います。

○委員長（匹田 郁）

回答はよろしいですか。

（ 「はい」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（大塚州章）

税務課の課長に質問させてください。歳入の11番、都市計画税1億2,100万円です。この都市計画税の意味合いというのが、都市計画区域内の固定資産が課税対象であると、この辺が、例えば何件ぐらいとかどれくらいあるのかが、もし分かれば。今分からなければ、また後で結構です。それと、もう1点。都市計画税を徴収しているので、それに見合った都市計画をしているところに、どれくらいこの税が使われてるかというのが分かれば、また教えてください。わからなければ、また後日でいいです。

◎税務課長（尾本 浩）

大塚委員の質問にお答えをいたします。今質問いただいた2点について、お答えできるのが1点だけ、すみません。都市計画税が何に使われてるかというところでございますが、都市計画区域内の下水道の管理に使っています。その他の質問については、大変すみません。後日、改めてお答えしたいと思います。すみません。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（広田精治）

部落差別解消推進・人権啓発課、斎藤課長がお見えなのでお聞きしますが、予算書の78ページ、10需用額のうち、消耗品費187万8,000円とあります。その内訳になると思うんですけども、解放新聞の予算額が幾らか。月刊部落解放の購入予算が幾らか。あともう1点は、同じく予算書の38ページ。県補助金で、隣保館運営費の補助金が90万円あります。

これを財源にした支出があるかどうか。あれば幾らで、それはどういう団体に交付されてるかどうか教えてください。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（齋藤正雄）

まず1点目でございます。需用費の中に、幾ら入っているかということで。月間部落解放、こちらが50部で12か月分、それから、増刊号が50部で4回分、合わせて66万円計上しております。解放新聞については入っておりません。それから、隣保館運営費についてですけども、こちらは地域相談センターの維持管理費になっております。内容については、消耗品、それから光熱水費、維持修繕料、通信運搬費、テレビの受信料、そういう形で上げております。

○委員（広田精治）

確認しますけど、月刊誌のほうが66万円。解放新聞のほうは幾らでしたかね。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（齋藤正雄）

お答えいたします。月刊誌は、先ほど申し上げたように50部の12か月分、増刊号が50部の4回分合わせて66万円でございます。解放新聞代については、こちらの予算には入っておりません。以上です。

○委員（広田精治）

この予算の中ではなくて、別のところに入ってるということですか。幾ら入っていますか。

◎部落差別解消推進・人権啓発課長（齋藤正雄）

再質問にお答えいたします。新聞代については、教育委員会のほうの予算になりますので、こちらで金額等は分かりませんので、すみません。よろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で市民関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで、休憩に入ります。

13時より、再開いたします。

午前11時57分 休憩

午後0時58分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 22～25ページに基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 22～25 ページに基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（竹尾幸三）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 23～27 ページに基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 24～28 ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

予算書の 79 ページ、18 節、負担金補助金のところですか。民生委員活動費交付金ということで、1,247 万 5,000 円上がってるんですが、国から来るお金と差額、市のほうの負担を合わせると 1 人当たり幾らぐらいになる予定でしょうか。お願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の再質問にお答えいたします。市のほうで民生委員の方々への報酬として出している分で、総額になりますが 345 万円というふうになります。それぞれ人数割、そしてあと地区割り等で配分をしております。以上です。

○委員（河野 巧）

おおむね、国から来るのが 1 人当たり 6 万円。市のほうの補填をすると、合わせて 9 万円前後だったかなと思うんですけど、上下はここ近年特にないんでしょうか。お願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の再質問にお答えいたします。今おっしゃるとおりで、ちょっと手元に資料を持ってはいませんが、おおむねそのくらいの金額です。以上です。

○委員（河野 巧）

多分、今年がまた改定の年、新年度が民生委員さんを決める時期じゃないかなと思うんですけども、地域の方にお話を聞くと、民生委員を探すのが大変だという話があって。その中でも幾ばくか報酬というか活動費というか、そういった部分がアップできればな、という話聞くんですけど、その辺は内部では何か調整されてましたでしょうか。お願いします。

◎福祉課長（大戸敏雄）

河野委員の再質問にお答えいたします。民生委員さんの報酬についてということだろうと思います。県内の市町村も同じような対応を行っております。国から交付される額に各市町村が上積みをつけて、交付をするという格好であります。そういった中で、臼杵市は民生委員協議会からは是非増やしてくれというようなご意見等はございません。とはいうものの、やはり、民生委員さんには、いろんな地域福祉という広い意味で、そしてまた、日々の活動の中で、かなりのご協力をいただいている中で、各市町村によって若干違うんですが、おおむね県内の各市

町村の平均値ぐらいの金額を臼杵市で補助を出すというような形にしております。これは、ご承知のとおり、民生委員さんの活動につきましては、この報酬でどうこうというふうな心ではなく、地域のために一肌脱いで皆さんのためにという心でやっていただく、というところが活動の根幹というところをご承知のとおりだと思います。とは言いながら、先ほど言いましたとおり、額面もある程度は必要だろうという中で査定したのがこの金額であります。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

予算書 85 ページの委託料で、安生寮指定管理委託料が計上されているんですけども。安生寮の指定管理を選ぶ中で、運営について民間の方にもお聞きして、なかなか決まらなかったということがあったと思います。最近、決まってからの流れとしては、入居者等変動があるのか、部屋の改装とかも行われたのか、その辺も併せて、この予算の中にどの部分が入っているのかをお知らせください。人数は何人分で、これぐらい積み上げたというのが分かればお願いします。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

河野委員のご質問にお答えいたします。ここで計上している指定管理料なんですけど、昨年に比べて 109 万 6,000 円増加しております。この増加の理由といたしましては、国の基準の改定がありまして、1 人当たりの単価というのが、ちょっと増えてきているということで、そこをアップしております。定員は 60 名で、補修工事とかがどうしても出てくると思うんですけど、小さな部分は指定管理料の中でやっていただいたり、大きな修繕等になれば、市のほうが対応するようにしております。以上です。

○委員（河野 巧）

特に近年ここを大きく改築というか改装というか、予定はないんでしょうか。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

令和 7 年度までの指定管理ということで、今動いております。今、委託されている大翔会さんのほうともいろいろ話していて、市としては、民設民営という形で動いてはいるところなんですけど、今のこの物価高騰で、やはりちょっとなかなかうまくいかないね、ということで。もう 1 年かけて、民設民営の意欲は、今あるというところで、話をしておりますので、それをどうやったらいくのか、もしかしたらいかないかもしれませんが、そういったところを、今協議しているところでございます。そこに住んでる人が困るようなところは、必ず改修はしているので、生活していて困ったということはないようにしております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

予算書の 97 ページ、予防費の委託料、予防接種委託料の 1 億 300 万円です。おおむねこ

の接種に幾らぐらいずつとかいう区分けが、今あるのか。あと、その下にある１８番、負担金の部分で、予防接種の責任保険負担金とか、そういった被害に遭われた方の負担金とかの予算も計上されてると思うんですけども、この予防接種が、まずは幾らずつ振り分けられてるのかというのと、予防接種の後の何かあったときの啓発的な予算はどこかに計上されているのか、お願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

河野委員の質問にお答えいたします。予防接種の委託料についてですが、もちろんそれぞれの予防接種についてどの程度かかるという予算計上はしているんですけど、予防接種の種類だけでも、こちらの重点項目に上げた以外に、本当に１０とか２０近くの予防接種の種類がありますので、この場でそれぞれお答えするのは難しいというか、時間もかかりますので、後ほど細かくお答えするということによろしければ、それぞれの予防接種にかかる費用については別途お答えさせていただきたいと思います。次の負担金の予防接種事故賠償責任保険負担金なんですけれど、これは行政措置ということで、任意接種を行ったときに、もし予防接種を打った後に健康被害等があった際に定期の予防接種であれば、国が定めている健康被害の救済制度にのるんですが、任意の予防接種というのは健康被害の対象になりませんので、市長会保険という、その保険を掛けるための保険金で１４万７，０００円を計上しております。さらに、健康被害が起きたときのそういった保険や救済につきましては、市のホームページやあとはそれぞれ予防接種を受けるときに、予防接種のお勧めをする資料と一緒に対象者の方へ啓発するような資料を配布しております。以上です。

○委員（河野 巧）

では、２０いくつかは細か過ぎると思いますので、ここに書いてます４つについては、分かる範囲でお願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

それでは、こちらに書かれてある予防接種のそれぞれの経費の見込みというところになるんですが、高齢者のインフルエンザにつきましては、人数で９，５００人になりまして、摂取料約２，５００万円。高齢者のコロナワクチンにつきましては、２，０００万円。日本脳炎につきましては、１，０００人ぐらいの見込みです。今、手元に残りの分はないので、また後ほどお答えさせていただくということによろしいでしょうか。

○委員（河野 巧）

ありがとうございます。ちょっと気になったのは、特にワクチンとか保存期間とかよくあるとニュースとかでも見るんですけども、発注してからなんで、臼杵市として予算を組んだ場合には、廃棄する処分は特になかったんでしょうか。お願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

ワクチン接種につきましては、ワクチンはそれぞれ医療機関で手配をしております。しかも予約をした分だけを医療機関が手配をして、手に入れるので廃棄ということはございません。

以上です。

○委員（河野 巧）

特に補正等でもワクチンの予防費が計上されてくるんですけど、だんだん時が経つにつれて予防接種する方の人数が減ってきていますので、今回のニーズというのは、そういうのも見込んだ人数設定になってるのか、前の当初の予定になってるのか、ご説明をお願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

河野委員の質問にお答えいたします。毎年予算を計上する際には、例年の接種者数というのを参考に、またさらに、その年の年齢の子供たちの人数がある程度予測をされますので、その人数と額を掛けて予算を計上しております。ただ、人数は減ってきているんですけど、国が定期接種として上げていく項目が、年々増えてきていますので、予算総額としては、維持もしくは少し増加というようなイメージになっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午後1時39分 休憩

午後1時40分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、インフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長（村上 和）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 29～32ページに基づき説明 ）

◎建設課長（小坂郡師）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 29～33ページに基づき説明 ）

◎水道事業所長併上下水道課長（齋藤隆生）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 30～34ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明は終わりました。10分間休憩いたします。

午後2時09分 休憩

午後２時１８分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（安東鉄男）

都市デザインの野津の定住促進住宅についてお尋ねいたします。５日の予算委員会で、繰越し６，３００万円ほど行うようになったと思うんですが。今日、先ほど１億１，７００万円ほど予算付けていただいて、また水道設備のほうも予算が付いているということで、令和６年度が７年度にずれ込んだ分も多いんですけど、それによって、事業が後ずさり、あとあとに遅くなるんじゃないかと懸念するところもあるんですが、これは遅れなくできるんでしょうか。

◎都市デザイン課長（村上 和）

安東委員の質問にお答えいたします。繰越しをした分が、一応夏頃の完了を見込んでおります。それと同時に来年度分の発注をかけるようにして、来年度末の工事完成という工程を考えております。住宅の売出しとかいうことも完成前に着手できるように、準備をするように考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

関連です。定住促進宅地整備事業費です。おおむね何軒建てる予定なのかと、今、どれぐらい入りたいなっていう人がいらっしゃるのか。特に最近の物価上昇で建築資材を含めて物価上昇してますんで、当初予定していた方が、ちょっと難しくなることも考えられるので、その辺の予定をお聞かせください。

◎都市デザイン課長（村上 和）

河野委員の質問にお答えいたします。第１期分として１２区画の造成を予定しております。事業費等についても、今の事業費で全部いけるというふうに思っております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。すみません。これはお願いでございますが、質問に関しては、重点項目の何番と、そういうふうに言っていただけるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員（芝田英範）

重点項目の３２ページの２５番道路新設改良事業、辺地債を使ったやつですね。この赤峰線、今年で終わりますか。

◎建設課長（小坂郡師）

芝田委員の質問にお答えします。赤峰線につきましては、住宅がある所につきましては、来年度。ただ、豊後大野市との境までありますので、そこまで一応現在の計画では入っていただいて、全線の完成予定につきましては、令和１１年を予定しております。以上であります。

○委員（芝田英範）

33ページの27番、東光寺風瀬線。ここの改良が入ってるんですけど、場所的にはどこになるのかな。あそこは、かなり広いようにあるけど。

◎建設課長（小坂郡師）

芝田委員の質問にお答えします。東光寺風瀬線につきましては、豊後大野市との境に虹潤橋があります。あそこから上がっていく道路があると思うんですけど、株式会社豊後が以前持っていた残土処分場、あちらのほうの舗装工事と側溝の改良工事を計上しております。以上であります。

○委員（匹田久美子）

重点事項説明の31ページの歳出2番。木造住宅耐震化促進事業補助金なんですけど、歳入も歳出も去年の3倍以上金額が大きくなってんですけど、耐震化に対する意識が高まって、要望が増えたとか、事業そのものが使いやすくなったとか、そういう何か要因があるんですか。

◎都市デザイン課参事（広瀬 隆）

匹田久美子委員のご質問にお答えいたします。耐震につきましては、診断、改修ともに国の制度、それから県の制度の拡充が来年度行われます。それに伴って、耐震改修につきましては、上限100万円から150万円というふうに拡充されております。そして昨年度、啓発の成果もありまして、相談件数も多かったので、令和7年度については診断の件数、それから改修の件数ともに増やして計上をさせていただいております。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（奥田富美子）

重点項目の歳出30番と31番、並んでいるので、2つ一緒にいいですか。緑地の芝の管理の委託先についてと、あとは、仲よし子供公園の広場を舗装とありますが、今は多分土だったと思うんですが、どういう必要性に迫られての舗装でしょうか。お願いします。

◎建設課長（小坂郡師）

奥田委員の質問にお答えします。まず歳出のナンバー30の緑地の芝の管理についてですけど、今年度完成します。芝の管理育成につきましては、やはり最初のメンテナンスが重要だと考えております。最初、失敗すると芝の目がちゃんとならないので、それで年6回ほど芝の管理をするようにしております。全体の面積につきましては、約1,950平方メートルございます。続きましてナンバー31の仲よし子供公園ですけど、これを先ほど舗装と説明していましたが、真砂土の舗装を予定しております。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

◎政策監（高野裕之）

すみません。訂正をさせていただきます。今、芝の面積1桁違っていたように聞こえました。

1万9,500平方メートル。委託先については、今後決めていくつもりで、委託先はまだ決まっておりません。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか

○委員（牧 宣雄）

地籍調査の件で聞きたいんですが、重点事項の16番です。地区市町村測量委託料、3,000万円。白杵は1,800万円、野津が1,200万円と出ております。以前にも質問をしたんですが、今、白杵市地域でどれぐらい済んでいるのか、野津地域でどれぐらい済んでいるのか、まずお聞きしたいと思います。

◎建設課長（小坂郡師）

牧委員の質問にお答えします。進捗率であります。白杵地域につきましては約10%、1割です。野津地域につきましては、約20%。白杵市全体としては、約15%の進捗率となっております。以上であります。

○委員（牧 宣雄）

なぜ質問するかといいますと、以前も質問いたしましたが、他市ではもうかなり進んで、済んだというか、ほぼ終わったというところもあります。というのは、現在高齢化が進んで、境とか境界線が非常に分かりにくくなっております。そういうことで調査自体が非常に進みにくくなる。なるべく早く予算を付けて終了していただきたいということを前にも言いました。その辺について、予算をもう少し上げるということとはできないんですか。

◎建設課長（小坂郡師）

牧委員の質問にお答えします。予算を多く上げればということでもありますけど、1つの地域で、工程的に約3年間かかります。その繰り返しです。それを最終的に法務局のほうに送り込むんですけど、法務局のほうも手いっぱいといいますか、うちが事業を上げて3地区、4地区もということで、法務局に送り込んでも法務局のほうで、まだ受け取ってくれないという状況もありますので、今の状態でやっていくしかないのかなと思っております。ただ、土地の境界については、やはり、どんどん地権者が高齢になってきて、土地の境が分からないというような状況もございます。この調査自体は、来年度から試験的に野津地域のほうでは、平岩のほうの山間部の調査を行っております。リモートセンシングといいまして、衛星とかそういったのを使って、現地に直接向かわなくても、境界を決めることが可能になってきていますので、そういった新しい工法を取り入れて、少しでも早くやっていく方向で今検討しているところであります。以上であります。

○委員（牧 宣雄）

前向きに考えてるということでございますが、ぜひそういうことを考えまして、できるだけ早くやっていただきたいと思います。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか

○委員（河野 巧）

重点説明事項 31 ページの歳出 5 番。土の受入れ地におけるため池整備の場所は、どの辺りになるのでしょうか。お願いします。

◎都市デザイン課長（村上 和）

河野委員の質問にお答えいたします。場所については、野津地域の老松という地域になります。工場用地の予定地の隣、すぐ隣り合ったところの谷になっております。以上です。

○委員（河野 巧）

今ある埋め立てしているところの関連とか継続とか、その考え方でよろしいでしょうか。確認だけお願いします。

◎都市デザイン課長（村上 和）

河野委員の再質問にお答えいたします。私の説明が不足して申し訳ありませんでした。今、盛土した所の下流部に造るように考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

重点説明事項の資料の 32 ページ、歳出 21 番。市道草刈委託料です。今後、また草がどんどん伸びていくんですけども、年間、毎回 1 回とか 2 回とかいう話があると思うんですが、市道というと結構広いと思うんです。新規で要望とかも出てるのか、もう今やってるとこだけメインにやる形なのか、この予算の中身を教えてください。

◎建設課長（小坂郡師）

河野委員の質問にお答えします。現在、予算計上してしている箇所につきましては、従来どおりの箇所になります。新規でということですけど、そこにつきましては、なかなか私たちも全線というのは手が行き届かないところもあります。地域の生活道路につきましては、この前の梅田委員の一般質問の時にも再質問で答弁させていただいたと思うんですけど、燃料費の補助を出して、地域の方で刈ってもらっているというのが現状であります。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、インフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午後 2 時 36 分 休憩

午後 2 時 38 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎産業観光課長（山木哲男）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 35～44ページに基づき説明 ）

◎農林振興課長（目原康弘）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 35～44ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

重点事項説明書の37ページ、歳出の2番。外国人実習生定着支援事業委託料ということで、どれぐらいの方を想定しているのか。支援するにあたって、臼杵地域内で行うのか、野津地域内で行うのか予定があればお知らせください。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず外国人技能実習生の人数につきましては、2月末に事業所に聞き取りをさせていただきまして、臼杵地域、野津地域を含めて大体230名ぐらいの方がいらっしゃるので、その方々を対象にお声をおかけしたいと考えております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

もし分かればいいんですけど。業種的には、230名の方はこういった部類の業種になっていますでしょうか。お願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。主な事業所的には、造船所とかIT企業の工場の方、また、野津の工場の方にお声を掛ける予定としております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

重点事項説明資料の39ページ、歳出15番。説明を受けたんですけど、わからなかったのもう一度説明をお願いしたいんですけども。野津東部工場用地周辺地区の方々の水が不足しているので引込み工事をするのか。ここに入ってくる事業者のために引き込むのか、もう一度説明をお願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。野津東部工場用地につきましては、令和2年度に進入路の整備をさせていただきました。それにより、地形が多少変化した所がございます。実際、地区の方とお話をさせていただきましたら、やっぱり進入路ができてから、地下水を中山地区簡易水道組合が使用しているんですけども、地下水が減少したり、また、濁りが生じたりしている状態が確認できました。当然、地震の影響とかもあろうかと思うんですけども、実際

進入路ができてからの影響もあるということも踏まえまして、今回、上下水道がまだ引いてない所もありまして、それに対する引き込み料を助成させていただくものでございます。これからも野津東部工場用地を振興するにあたって、地区の皆様のご理解が必要ということもありまして、地下水が減少してることに對して助成を行うものでございます。以上でございます。

○委員（河野 巧）

この地区の方々は、簡易水道、上水道を併用しているのか。簡易水道だけで、それがちょっと難しいので、上水道を引き込むということなのか、もう一度ご説明お願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

こちらの中山地区簡易水道組合は、5軒の方がいらっしゃるんですけど。今、上水道のほうは、引き込みをさせていただいてない方がほとんどでございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（匹田久美子）

38ページの歳出4番の漁業振興対策事業補助金についてなんですけど、その中の臼杵干潟アサリ復活プロジェクトについてです。昨年は、アサリの稚貝の分布調査とかを160万円かけてやったと思うんですけど、今年はこのプロジェクト、調査に続き、何をどういったことをするのかというのと、プロジェクト自体の進捗状況。あと、こういうアサリがいなくなってることとかが環境問題に起因するんだったら、そういう啓発とかを市民に行ったりしないのですか、というのを聞きたいです。

◎産業観光課長（山木哲男）

匹田委員のご質問にお答えいたします。アサリ復活プロジェクトの事業の内容につきまして、令和5年度に実際にアサリの育成状況を測るために、一定期間の網を設置して、保護をして育成の具合を測りました。結果、保護しておれば、外敵の侵入を受けませんで、アサリが育っていることが確認できました。今年度に関しましては、実際に、それをさらに促進させるために、醸造メーカーのご協力を得て、食品残渣、それを活用したアサリの成長促進を図る研究を進めております。これについても、まだ結果は最終的には出ていないですけども、アサリの成長が確認できるというふうな形の報告を受けております。令和7年度につきましては、さらにその稚貝の分布状況や母貝団地がどれぐらいのエリアで一番しやすいのか、ということも含めた研究を進めてまいります。あと、それをPRしないのかというご質問でございます。令和5年度には干潟シンポジウムを市民会館で行わせていただいて、また、今年度は、県の主催事業になるんですけども、体験型SDGsツアーということもやらさせていただいております。また令和7年度も体験型SDGsツアーを行いまして、なるべくアサリに皆さんが関心を持っていただけるよう、図っていきたいと考えております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（梅田徳男）

さっきのアサリプロジェクトのところの上にあります、4番、臼杵海のほんまもん協議会の事業費が150万円計上されていますけども、事業内容が分かれば教えていただけますか。

◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えします。うすき海のほんまもんの事業につきましては、総会を毎年6月に行いまして、そちらのほうで事業決定というような形になります。現在、海のほんまもん事業につきましては、去年は地魚フェアの開催、臼杵の地魚を使った子供対象のお魚教室の開催、また、海のほんまもんシールによる販売促進等を行わせていただきました。来年度につきましては、こちらのほうは、一般質問で梅田委員のご質問でも回答させていただいたんですけども、事業につきましては、また臼杵漁協さんと県と相談させていただきながら、再度事業の組立てをしていきたいと考えております。以上でございます。

○委員（梅田徳男）

後半のご回答は、一般質問のところで漁業振興としての事業提案があったけども、それについては、今後検討するということをおっしゃったんですかね。はい。それをこの後、お伺いをしようと思ったんですが、一般質問の中で、お答えになった振興策について、予算計上されていないんだけど、どうなんだろうかという質問をしようと思ったんですが。いよいよこれから、それぞれの機関なりと協議をして予算を計上する、予算を確保する、そういう方向だということでしょうか。

◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えいたします。当初予算の段階につきましては、今、計上させていただいたもので提案させていただいております。今後につきましては、また漁協臼杵支店、大分県と協議の上、検討を進めていきたいと考えております。

○委員（梅田徳男）

ぜひ、関係先と前向きな検討を進めてほしいですが、前も言いましたように、農業振興と比べると、ものすごい格差が出ていますし、事業の違いというのは十分分かるんですけども、ベースは基本的には同じだというふうに思いますので、やっぱり農業に合わせたような形の漁業振興ということをいろんな機関と協議をしながら、漁をされる皆さんが、しっかりとした生活ができるように、その辺、援助なり補助できるものは、しっかり対応していくということで、今後の対応をよろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

回答はよろしいですか。

○委員（梅田徳男）

その辺については、お考えがあると思いますので。ご回答願います。

◎産業観光課長（山木哲男）

梅田委員のご質問にお答えいたします。梅田委員からご指摘のとおり、まずは、漁業関係者の皆様としっかり協議をさせていただいて、その中から課題、ニーズを確認しながら、漁業振興がしっかりできるよう、事業につなげていきたいと考えております。以上でございます。

○委員（梅田徳男）

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（奥田富美子）

説明書の41番、歳出の36番です。石仏の30周年記念事業のところでは、式典の時期と20周年のときにも結構大きなイベントをしたと思うんですが、あの規模とっていいか、30周年の何か特徴がありましたらお願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

奥田委員のご質問にお答えいたします。まず式典の時期につきましては、6月中に行うよう、今、準備のほうを進めさせていただいてるところでございます。あと、20周年と同様の規模になるのか、というお話なんですけども、実は20周年のときに担当でいまして、あまり予算は計上させていただいてなかったんで、実際は式典しか行っていなかったような状況でございます。今回30周年を迎えるにつしまして、令和6年度中から、先ほど言った実行委員会の方に入らせていただいて、より後世に伝えるような形で準備ができないかということで、準備をさせていただいているところでございます。先ほど事業も申し上げましたけども、記念シンポジウム、また磨崖仏のストーリーブック等、大学と連携した観光商品の開発等も併せてさせていただき、石仏のほうを持続可能な観光地として発展させるというふうな目標に向けて、進めたいと考えております。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（吉岡 勲）

40ページの27番。その中で、ツアー企画造成1,000万円ってあるんですけども、ツアー企画造成とは、どんな事業ですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

吉岡委員のご質問にお答えいたします。観光協会の補助金の中のツアー造成企画というところでございます。今、観光協会のほうは、祈りの回廊とか学び旅とか、様々な事業の展開をしております。最近でしたら、USUKIベニューという企画をしているんですけども、その企画のツアー等を検討するのに観光協会の専務理事のほうをお雇いさせていただいて、その方々に企画をしていただいております。そういうふうな形の企画を造成する専門員ということでの費用でございます。

○委員（吉岡 勲）

その方は委託で人件費になるんですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

吉岡委員のご質問にお答えいたします。先ほど申しましたとおり、専門員、実際専務理事になるんですけど、その方々の人件費、雇用費用という形になります。

○委員（芝田英範）

43ページ64番、未整備林の整備促進事業4,544万5,000円。この財源内訳で、森林環境譲与税を活用というんだけど、これ環境譲与税ってどこに入ってるのかな。一般財源が多いようだけど。

◎農林振興課参事監（竹尾智明）

芝田委員のご質問にお答えします。森林環境譲与税は、いわゆる税金扱いになりますので、一度税として受け止めます。一般財源として、ここのほうに充当するという流れになっています。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（広田精治）

37ページの30番、歳入です。土づくりセンターの販売収入を書いています。令和2年1,825トンから、ずっと4年間、1,400トン、1,300トン、1,200トン、1,000トン、ずっと下がってってますね。その原因を教えてくださいのと、目標じゃなくて、1,800トンを見込むと書いてるんですけども、目標じゃなくて見込むんですから、見込みがあるんだろうと思うんですけど、どういうふうなことをやって、これだけの達成をやろうということなのかを聞かせてください。

◎農林振興課参事監（竹尾智明）

広田委員のご質問にお答えします。まず本センターの堆肥の年間販売量、これは令和2年度が年間1,825トンピークに、それ以降は年々減少している状況でございます。その内訳を見ますと、袋詰め堆肥の販売量は、おおむね年間70トン。この辺をベースに維持しておりますけども、市内の農家を対象とした、いわゆる量り売り堆肥の販売量が大きく落ち込みを見せている、という現状でございます。この要因としては、管内の野菜農家のうち、特にピーマン農家への販売量の減少が大きな要因として考えられますが、ここで私たちが分析した特筆すべきことは、いわゆる有機農家への販売量が、センター開設時から余り増加せず、むしろ減少しているというようなことが、夢堆肥の販売量の伸び悩みの本質的な要因ではないかというふうに考えています。そのため、今回私どもは、土づくりセンターの安定経営に向けた、いわゆる中期的な対策の方針ということで、3つを基本柱にしております。その案としまして1つは、有機農業への堆肥の利用促進ということで、今回の議会の一般質問でも答弁しましたように、ファーマーズスクールを始めとする、担い手支援対策による有機農家の育成確保や持続可能な

農業経営に向けた規模拡大を推進しながら、うすき夢堆肥の有機農業での利用拡大を図っていきたくて考えております。2つ目としましては、袋詰め堆肥の販売促進ということで、社会状況や消費者ニーズなどの調査を進め、小売価格や販売価格の見直し、または市内を除く販売エリア、流通や販売方法などの再検討をし、袋詰め堆肥の販売拡大を図ろうというふうに考えております。最後の3つ目でございますが、農家ニーズに沿った堆肥の調査、研究、開発ということを上げております。これにつきましては、うすき夢堆肥による土づくりを核とした、いわゆる農業振興を引き続き推進する一方、農家のニーズに沿った、新たな堆肥の研究並びに開発を検討していきたいということで、この3本を柱にして、安定な経営を目指していきたいというふうに考えております。それにつきましては、先ほど言いました、1,800トンの件でございますが、現状で土づくりセンターの生産能力、これが最大で年間1,800トンということで、希望的観測はございますが、一応フル稼働をさせて、効率的な生産と販売を図りたいというふうに考えております。以上でございます。

○委員（広田精治）

実際は今1,000トンですよ。800トン伸ばすってということですね。かなり大変なことになると思うんですけども、見通しが立つような計算はできつつありますか。

◎農林振興課参事監（竹尾智明）

広田委員の質問にお答えします。単年では非常に厳しいというふうに考えておまして、ですから、先ほど中期的な対策の方針ということで、複数年かけながら、なるべく1,800トン、いわゆる安定稼働を目指したいというふうに考えております。以上です。

○委員（広田精治）

結局、200トン増やそう、次は300トン増やそうというんじゃなくて、一気に800トン増やそうということですから、相当何か作戦立てないと厳しいと思うんで、頑張ってください。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。要望ということで、しっかり頑張ってください。ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

重点事項説明書40ページの歳出26番。新しく駐車場を造る費用も入っていると思うんですけども、おおむねいつぐらいに完成して、その後は、ここの収入見込みがないので、無料なのか、できた後、もう一度考え直すのかをご説明をお願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。旧検察庁跡地の観光客用の駐車場の件ということでお答えさせていただきます。駐車場の完成時期は、11月の竹宵までには完成をしたい、と現在考えております。こちらの駐車場につきましては、観光バス、また、今現状でプラザのほうに観光客の方が駐車場に停められないケースも見受けられることから、基本的には、プラザと同様の無料という形で取り扱いたいと考えているところでございます。以上でございます。

○委員（河野 巧）

観光される方にとっては、無料のほうがありがたい感じはするんですけども、ツアー造成したりする場合、旅行会社さんとかいうと、手数料の関係で幾らかでも有料だったほうが、その辺りのキックバックあるんで、長期で考えると収入、有料を考えながら検討をお願いしたいなと思うんですけども。検討は、今はされてないということではよろしいでしょうか。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。現在、市内に観光バス駐車場も7台分、ご用意させていただいております。こちらについては、今、市内の飲食店、特にふぐ屋さんとか来られる場合もあります。また、市内の観光施設を見られる方もありますので、無料という形で取り扱いさせていただいております。できる限り、多くのお客様が中心部に来ていただけるよう、今のところは、無料のところで運用していきたいと考えております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

私はできれば有料でお願いしたいなと思うんですが、一応質問はこれで終わります。違うところで、重点事項資料の42ページ、歳出ナンバー53番。農業子育て応援事業補助金。こちら、どれぐらいの人数を見込んで予算立てしたか、お願いします。大変ありがたい制度だと思いますので、お願いします。

◎農林振興課長（目原康弘）

河野委員のご質問にお答えします。当初予算で計上しておりますのは、1組分というところで、今予算を組んでおります。事業の進捗によっては、また補正とかいう可能性もございますので、その際またご審議をお願いしたいと思っております。

○委員（河野 巧）

私も知らなかったので、PRの部分はどうなってますでしょうか。お願いします。

◎農林振興課長（目原康弘）

PRについては、基本的には農業者さん、部会と新規就農者の方には、こういった事業の周知は行っております。ただ、ホームページとか、そこまでは今は至っていないのが現状でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（「なし」の声）

○委員長（匹田 郁）

以上で産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午後3時29分 休憩

午後３時３９分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。山木課長より訂正ということで発言の申出がありますので、発言を許可いたします。

◎産業観光課長（山木哲男）

産業観光課の山木です。先ほど、歳出ナンバー１５工業適地環境整備補助金、こちらについて、委員から質問をいただいた際、私のほうが、上水道の引込みに対する工事と言うべきところを、上下水道というふうな表現をいたしまして、訂正をさせていただきます。すみません。よろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

次に、契約検査課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎契約検査課長（小野憲吾）

（ 令和７年度 当初予算重点事項説明資料 ４５ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

４５ページ、重点事項項目の３番。電子入札システム共同運用負担金ということで、ちょっと上にもかかるかもしれないですけど、これまでの白杵市で行っていた入札と共同できるようになってからの入札、物品含めて、利用するというか、市内業者さんがスムーズに移行できるのかどうなのか、その辺の調査とかはされてますでしょうか。負担金に関連するので、教えていただきたいんですけども。

◎契約検査課長（小野憲吾）

河野委員のご質問にお答えします。物品の入札については、今年度の１０月から物品の入札で電子になってます。８月ぐらいまでに、物品の共同センターのほうに白杵市からも随時登録をしていただいたんですけども、今まで物品のほうで入札の申請いただいた方には、８割ぐらいは申請していただいているとは思っています。今は電子入札にはしてるんですけど、紙のほうでも受付をしております。まだ電子で入札ができているというところは、３割ぐらいなのかなというふうに思っています。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で契約検査課の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午後3時44分 休憩

午後3時45分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、会計課の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎会計課長（瀧澤 愛）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 46ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

46ページの歳出の1番。手数料です。以前、補正で料金が上がった時があったと思うんですけども、その流れで令和7年度も行くということでよろしいでしょうか。

◎会計課長（瀧澤 愛）

河野委員の質問にお答えいたします。今、質問いただいたとおりでございます。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で会計課の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。以上で本日の予算委員会を閉会いたします。

午後3時47分 散会

予算委員会 会議録

日 時 令和7年3月18日（火曜日） 午前9時58分 ～ 午後1時27分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 伊藤 淳	委員 梅田 徳男	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 吉岡 勲	委員 牧 宣雄	

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（福祉保健担当）	柴田 監	水道事業所長併 上下水道課長教育次長 兼教育総務課長	齋藤 隆生 佐藤 忠久
教育次長 兼教育総務課長議会	佐藤 忠久	議会事務局長	林 昌英
学校教育課長	新名 敦	学校教育課参事監兼 野津学校給食センター所長	麻生 幸誠
社会教育課長	川辺宏一郎	文化・文化財課長	日高 昌幸
選挙管理委員会事務局長併 監査委員事務局長	佐藤 英治	農業委員会事務局長	阿南 哲也
水道事業所次長併 上下水道課参事	日高誠一郎	保険健康課長	川辺みさご
高齢者支援課長	安藤 隆文	税務課長	尾本 浩

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 二宮貴司 主幹 原 伸行 書記 大井智香子

傍聴者

(な し)

午前9時58分 開議

○委員長（匹田 郁）

定刻よりも少し早いですけど、もうそろっていますので、ただいまより、予算委員会を再開いたします。本日の審査に入る前に、税務課より発言の申出がありましたので、まずこれを許可します。

◎税務課長（尾本 浩）

発言の機会をいただきまして、ありがとうございます。昨日の税務課所管の予算のうち、大塚委員から質問のありました、都市計画税件数について、納税義務者数をお答えいたします。固定資産税全体の納税義務者数が、1万7,654人。そのうち、都市計画税の納税義務者数が1万1,424人でございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

続いて、保健健康課より発言の申出がありますので、これを許可します。

◎保険健康課長（川辺みさご）

発言の機会をいただきありがとうございます。それでは保健健康課からは、昨日の予算委員会で河野委員よりご質問のありました、予防接種委託料定期のうち、重点事項説明資料に記載をしています、日本脳炎と4種混合の委託料の積算額についてお答えいたします。日本脳炎が744万8,000円。4種混合が1,255万7,000円となっています。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ありがとうございました。暫時休憩いたします。

午前10時01分 休憩

午前10時02分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育総務課長（佐藤忠久）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 47～48 ページに基づき説明 ）

◎学校教育課長（新名 敦）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 47～50 ページに基づき説明 ）

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 49～52 ページに基づき説明 ）

◎社会教育課長（川辺宏一郎）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 47～51 ページに基づき説明 ）

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 47～52 ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（安東鉄男）

学校教育課にお尋ねいたします。今年度、学力の向上ということで、県下、市内のどの学校をとってもトップレベルだったということで、主な要因として特別支援とか習熟度別の学びだとか、あるいは市独自の予算で学校の先生を増員しているとか、そういったことが挙げられると思うんですが、市独自の予算で雇用した人数、今年度それから来年度予算が出ていますけど、人数的には増える、減ったとか同じだとか、そういったことをお尋ねしたいと思います。

○委員長（匹田 郁）

安東委員、重点事項の 15 番でよろしいですか。どうですか。

○委員（安東鉄男）

はい、15 番ほかになろうかと思います。複数にまたがるんじゃないかなと思います。はい。お願いします。

○委員長（匹田 郁）

はい。わかりました。皆さんが見やすいということで、できるだけ番号でお願いします。

◎教育総務課長（佐藤忠久）

安東委員のご質問にお答えいたします。市単独で会計年度任用職員で雇用した数ということかと思っております。なお、予算に関しましては、総務部門のほうで予算計上させてもらっております。13 ページのナンバー 4、総務課の中の人件費の会計年度任用職員という、この中に全部包含されておりますので、そこら辺をよろしくお願いいたします。あと、具体的な事例でございますけども、これは、新名学校教育課長がご説明いたします。

◎学校教育課長（新名 敦）

それでは人的配置につきまして、特に学力向上に関わる部分について説明させていただきます。まず複式授業の解消教員ということで、複式が2つある学校5校、それと複式が、今度から臼杵南小学校が1つ複式になりますので0.5人の配置という形になっております。また、少人数学級の対応教員、これは算数の習熟度別授業をするものですが、これも5校に5名配置の予定となっております。以上が学力向上に関するものの支援員配置となっております。以上でございます。

○委員（安東鉄男）

ありがとうございました。大体分かりましたが、令和6年度と令和7年度は人数的には増減はいかがでしょうか。

◎学校教育課長（新名 敦）

安東委員の再質問にお答えします。人数につきましては、先ほど述べました複式授業の解消教員が、令和7年度から臼杵南小が1つ複式になりますので、半日勤務0.5人の勤務が1人増えているという形になります。以上でございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（大塚州章）

まず一点、歳出ナンバー24の有機農業推進支援負担金ですが、前回まで農林振興課で上げていたのを、今回こちらから上げたというのは何か理由があるのか、ひとつお願いします。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

大塚委員のご質問にお答えします。ご質問のこの農林振興課で予算化、先ほど少し触れましたけども、国の緑の交付金を活用して、窓口が農林振興課でありましたので、その管轄の農林振興課で予算化していた。それが令和6年度までで終了するという事で、給食センターからダイレクトで補填するということにさせていただきました。以上です。

○委員（大塚州章）

ということは、もう補助金がなくなったので単費でやるというような形ということでよろしいですか。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

お見込みのとおりでございます。

○委員（大塚州章）

あと、16番の農泊の件です。5年生の実施、今何人かということと、大体1人幾らの予算を見ていらっしゃるのかというのを教えていただければと思います。

◎学校教育課（新名 敦）

大塚委員の質問にお答えいたします。農泊につきましては、現在小学校5年生全員に対してということになっております。予算につきましては、1人1万1,000円を245人という

形で計上している状況です。以上です。

○委員長（匹田 郁）

はい、ほかにございませんか。

○委員（奥田富美子）

歳出51ページ、ナンバー32です。文化・文化財課のところで、市民会館の改修事業の舞台機構設備更新工事で2,300万となっておりますが、内容について教えてください。

◎文化・文化財課（日高昌幸）

奥田委員の質問にお答えいたします。内容につきましては、側面の反射板の下手側の更新事業になります。更新事業になりますので、計画的にやる部分の1つになっております。以上です。

○委員（奥田富美子）

説明書にはありませんが、一般質問で取上げました図書館専門員さんについて、現在、小学校、中学校で18校あって、現在は多分16人だと思うんですが、来年度はどのような採用の予定になっていきますでしょうか。

◎教育総務課長（佐藤忠久）

図書館専門員に関しましては、現在16名のところ、来年は15名の採用と考えております。先ほど申しました1つ、白杵南小と南中をまた1人で賄うというふうにしております。また雇用形態に関しましても、これまで1日5時間の週5日だったのを1日5時間の週4日というふうに変更したいと思っております。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（川辺 隆）

33、37、39ですかね、51ページ。ここで掲げられてます、国史跡の白杵城の3点の予算の中に鎧坂等の復旧に対する調査費用はどこに入っているんですか。

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

川辺委員の質問にお答えいたします。復旧費用につきましては、令和7年、8年度で調査を行います。そのための先生方の費用につきましては、この中で言いますと、33番の策定の中の委員報酬の中に入っています。その中で先生方の費用を見て、7年、8年度で計画を立てながら、その間こういった工法がいいのかということも検討しながら、工事につきましては、令和9年度以降になるかと思っております。以上であります。

○委員（川辺 隆）

復旧に関しては、白杵城跡が、中央地区約3,000人から4,000人の避難場所になってなかったら、そのペースで僕は構わないと思います。しかしながら、もうこの問題は、3年以上前から表に出てまして、3年間、いまだに調査すらしてなかった。工事をするのは、9年以降になりますよ。この間に何事かあったときの対応を考えておられますか。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前１０時２８分 休憩

午前１０時２８分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

川辺委員の再質問にお答えいたします。復旧工事につきましては、国指定という縛りの中で、最短でやる、今計画しております。避難路につきましては、担当課と相談いたしまして、今は古橋口から登るよりは、安全面もいたしまして、今橋口から登るほうがいいのかと私個人的に思っておりますが、工事につきましては、大友宗麟の遺構が唯一残っているのが鎧坂ということで、そこを復元して残そうということで、今回、国指定に格上げして、国の補助をもらって整備しようというような計画で行っております。以上であります。

○委員（川辺 隆）

計画的にはそれでいいですけども、現在の仮設の施設に関して、地震が起こってあの岩石を止めるために施設を設けてるんですけど、あれ、持ちませんよね。

○委員長（匹田 郁）

川辺委員、どういうふうな回答がいるのかちゃんと最後まで言ってください。

○委員（川辺 隆）

文化・文化財課のお考えで、県指定になってるときに何もせずに国史跡になりました。今から調査しましょう。この数年間、何も講じなかったとは言いませんよ。仮設防護柵を立ててらっしゃいますけども、それに対する景観の悪さも議員から指摘が出ております。その中で、色は申し訳ないですけど、見た目は十分に抑えられるブラウン系で仕上げてると思いますが、そこに使用してる材料は鋼管パイプ使っているでしょ。現地を確認して、今の返答をなさっているのであれば、あれでは、１トンの岩石が落ちたときに持ちませんよね、という確認をとっている。それを、確認して施工しておるのであれば、私は何も言いません。なぜなら、通路として使用ができるから。そのところのお考えをお伺いしています。以上です。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前１０時３０分 休憩

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

川辺委員の質問にお答えいたします。文化財課としては、あくまでも、今現在、市民の方に登っていただける安全な道として考えております。なので、災害等につきましては、文化財課では、そこまでちょっと専門ではありませんので、もう一度確認してお答えしたいと思います。以上です。

○委員（川辺 隆）

文化・文化財課が所管してる臼杵城は、総合的に市民の生命と財産を守る避難場所です。私これ前提で言います。そこを国指定にしたんですよ、昨年度。今も報告がありましたけども。それであるなら、この数年間、何もせずにやってきて、安心だと思いますというのであれば、一度ですね、現地を視察して見ていただいて、支保工という物のやり方がありますので、少しお勉強されて、その上で、いつ直るか分からないものの調査、そして施行時期を延ばしてもいいですよ。壊れても、その仮設通路が確保できるのであれば、それをやっていただきたいと要望して私の質問を終わります。以上です。

○委員長（匹田 郁）

要望でよろしいですね。

○委員（川辺 隆）

かまいません。その代わり、ちゃんと確認をしてもらいます。返答くれますか。

◎文化・文化財課長（日高昌幸）

ありがとうございます。確認させていただきまして、私も勉強したいと思います。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

重点説明事項の48ページ、歳出1番。スクールバスと運行事業費です。4月から新入生が予想されてると思うんですけども、利用者数が前年度対比、どれぐらい変わってきたか、スクールバスとスクールタクシーで分かれば、お願いしたいと思います。

◎教育総務課長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。スクールバスの利用の対象者数の比較でよろしいかと思います。まずスクールバスに関しましては、令和6年度の対象人員は146名でございました。令和7年度は136名になっております。スクールタクシーに関しましては、令和6年度15名のところが、令和7年度は11名となっております。なお令和6年度、これは対象人数となっており、実際乗ってる人数とは若干違うので、そこら辺についてご理解をよろしくお

願いたします。以上です。

○委員（河野 巧）

ありがとうございます。ちょうど今、小学校の統合の説明会に参加させてもらおうと、既に、今の案の時期よりも早めに違う所に行きたいとかいう人の意見だったり、そういうときの交通手段をどうしていくのか、というのもありました。当初なので、そこまではまだ計画されてないと思うんですけども、今後、補正等をこの内容で変更、内部でどういった検討されてるか、言える範囲でお答えいただきたいと思います。

◎教育総務課長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。現在の在り方の検討の中でのということでございますが、現在まだ決まっておりませんので、何とも今の段階でお答えすることはできません。以上であります。

○委員（河野 巧）

歳出４８ページの歳出８番。業務支援等委託料ということで、ＩＣＴの専門員の方がいらっしゃるんですが、例年と変わらないような動きなのか、この３名で足りてるのか、というのちょっとありますので、現状をお話しいただければなと思います。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えします。ＩＣＴ専門員につきましては、お見込みのとおり、昨年度と同様の３名の体制で会計年度任用職員を１名、別途雇っておりますので、計４名で本市のＩＣＴの支援を当たっていただいております。令和６年度の訪問は、１８校に対しまして、７７７回訪問しておりますので、３．８回強。平均で毎週行っているというような状況であります。これが、だんだん先生方、子供たちもタブレット端末の操作や授業でスキルは上がってきますので、人数的には今の状況でいけるといってもありますし、国の基準が大体４．５人ということで、本市が４人ということで、ほぼ、国の基準に近づいた配置になっているので、不足している状況ではありません。このＩＣＴ支援員は子供たちから見ると、先生と同じで中には先生と呼ばれる方もいらっしゃいますので、信頼関係、業務のスキルだけでなく、挨拶であるとか身なりであるとか、子供たちの信頼あつての円滑な授業支援になりますので、その辺もすごい重視しながら業務に当たってくれています。今ではすごく学校に溶け込んで、先生と何ら変わらないような、子供たちからの対応、信頼を得ているということであります。以上であります。

○委員（河野 巧）

続きまして、重点事項の４９ページの１２番。学校教育費の中で学校図書館のＰＣ更新事業ということで、１３校２６台の購入ということなんですが、通常パソコンとＯＳとセットになっているのが多くて、おおむね交換時期というのが一緒になるのかなと思ったんですけども、５校だけ更新を今回されるということなので、２６台をどういった使い方をしてるか。これがよそと何か共有もできてるのか、ご説明お願いしたいと思います。

◎学校教育課長（新名 敦）

河野委員の質問にお答えします。まず、学校図書館PCですが、これはどうしても機械物ですので古くなったら順次入替えが必要という形になっております。その中で、まず13校は小学校。まず今回は小学校の校務用PCを新たにしようという計画でやっております。またその他5校でのこれ中学校になりますので、これも使える範囲で更新用のOSをシステム更新するという形で、複数年で考えてのこういう流れというふうになっております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

もう1点あったのが図書館PC。それが連携しているとか、その辺はあるのか。そこで図書を貸し出すとかにも使われるのか。その辺が分からなかったなので、お知らせください。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えします。図書館のPC、システムが入っております、バーコードリーダーも付属しておりますので、子供たちが本を借りたいときに、ぽっとかざすだけで、本の貸出しの累計がリアルタイムでどんどん積み上がっていくと。特に大きい学校につきましては、昼休みとか中休みとか、決まった時間内で行列ができたりしますので、大量にさばくのはすごく効果的であります。本を入れたときに登録しておきますと、もうバーコード一つで、いちいちタイプ打たなくても、登録や借りた人の情報がストックできるということで、貸出しの状況とか、そういう状況調査にもすごく役立つというものであります。以上であります。

○委員（河野 巧）

続きまして、重点事項の50ページの24番。有機野菜の推進のための負担金なんですけども、この負担をすることで、どれぐらい今食べている給食の中で比率がアップするのかのご説明をお願いします。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えします。これは今回、令和7年度に200万円上げさせていただいております。直近の2年間を見ますと大体200万円台で負担金を、補填をさせていただいております。これによって、市場価格の1.5倍で今、給食センターが農産物を買って取っております。それを後でその5割増分をこれで補填をしているということでありますので、ほんまもん農産物等の使用率の向上の大きな要因で、金銭的にはすごく助かっているということで、使用率の向上に寄与しているものと考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

ほんまもん野菜を使った分の比率は、今現状維持というご説明だと思うんですけども、それを上げていくために、この金額を仮に200万円から300万円に上げたときに、比率が上がるという予算のお考えはなかったでしょうか。お願いします。

◎学校教育課参事監（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えします。ほんまもん農産物の使用率は、年間通じてたくさん納入

いただければ、使用率はもっと伸びますので、当然この負担金ももっと多く計上させていただくようになるように、私たちも努力をいたします。去年の猛暑や秋口の少雨、雨が降らなかったことで、令和6年度は、ちょっとほんまもん農産物の使用率が下がっております。天候に大変左右されやすいというところがありますので、絶対量が増えれば、おのずとこの使用率も上がりますので、この負担金も増額させていただくようになる、ということであります。以上です。

○委員（河野 巧）

続きまして、同じページの29番。山内流の游泳所ですけど、プールでの開催をよく耳にするんですけども。予算上は海仕様のバージョンなのか、プールでやる形なのか、形状的にはどのようなになってますでしょうか、お願いします。

◎社会教育課長（川辺宏一郎）

河野委員のご質問にお答えします。令和元年の海での開催時は360万円ほどかかっていたのではないかと記憶しております。借上料等が減額いたしまして、現在この金額に落ちついております。以上です。

○委員（河野 巧）

ということは、今、海の形で計上してるということですか。それとも借り上げというのは、どちらかを借り上げる。その辺のご説明をお願いします。

◎社会教育課長（川辺宏一郎）

現在、海洋科学高校と海辺小のプールを併用いたしまして、必要なときは、佐志生の浜公園を使っております。そういう形で計上した費用となっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

51ページ、30番。スコアボードを全面改修するということで、結構な金額になりました。ちょうどこれも小学校の統合の話を地元説明会する中で、地元の方から意見があったのが、仮に統廃合するのであれば、新しい学校をつくる。それに対しての予算が膨大なものになるので、まずはいろんなことを削減してでも、学校を建てる金額を確保してほしいという意見もありました。その中で、今回、約3億円近い金額が計上されまして。その償還、起債をうつと思うんですけども、どれぐらいの比率で、実際白杵市から出るお金がどれぐらいあるのかを教えてください。

◎社会教育課長（川辺宏一郎）

費用におきましては、過疎債の7割ほどが交付税措置されるということで、順次返ってくると思います。施設の改修の必要性につきましては、現在、29年経過しておりまして、耐用年数15年を大きく上回っております。なお、チーム名が表示されない状況が続いておりまして、必要不可欠な工事だと認識しております。以上です。

○委員（河野 巧）

結構な金額になるので、今後支障がないように同じ教育委員会内なので、学校施設に対しても検討いただければと思います。これは要望です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで10分間休憩いたします。

午前10時48分 休憩

午前10時58分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、選挙管理委員会事務局の議案について、審査を行います。

執行部の説明を求めます。

◎選挙管理委員会事務局長（佐藤英治）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 53ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

53ページの歳出のほうで、選挙の広報紙。去年、市長選で使った候補者の広報紙については、どの部分で入っていますでしょうか。お願いします。

◎監査委員会事務局長（佐藤英治）

選挙公報の印刷費ということでございますが、今回は国政選挙になりますので、選挙公報については、県のほうで印刷をしてそれが配られてくることになりますので、今回は計上していません。歳出の2番の市議会議員の選挙につきましては、令和8年度の当初予算で計上することになると思います。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で選挙管理委員会事務局の議案質疑を終わります。続きまして、監査委員事務局の議案

について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎監査委員事務局長（佐藤英治）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 54ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ な し ）

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で監査委員事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時04分 休憩

午前11時06分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、農業委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎農業委員会事務局長（阿南哲也）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 55ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で農業委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時07分 休憩

午前11時07分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、議会事務局の議案について審査を行います。事務局の説明を求めます。

◎議会事務局長（林 昌英）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 56ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で議会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時09分 休憩

午前11時11分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、各特別会計の議案審査を行います。初めに、上下水道課所管の議案審査を行います。第29号議案、令和7年度臼杵市水道事業会計予算を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎水道事業所次長併上下水道課参事（日高誠一郎）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 57～58ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

一般質問でも議員のほうから質問があったと思うんですけども、水道料金のほうで、今後、やはり特別会計内でそれを進めていく、いろんなことを配管とか配水池とかをしていくのは厳しいということもありますので、料金改定については、令和7年度は、特に今の段階では考えてないということですのでよろしいでしょうか。お願いします。

◎水道事業所長併上下水道課長（齋藤隆生）

河野委員のご質問にお答えいたします。一般質問で答弁いたしましたとおりです。令和7年

度については、料金改定の実施はございません。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、第29号議案についての質疑を終わります。次に、第30号議案、令和7年度白杵市下水道事業会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎水道事業所長併上下水道課長（齋藤隆生）

（ 令和7年度 当初予算重点事項説明資料 59～66ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

重点説明事項の60ページ、歳出の1番。管路ストックマネジメント基本計画策定委託料、というところですが、令和7年度で計画を策定して、これができたら令和8年度以降、何か行っていくという内容のものでしょうか。お願いします。

◎水道事業所長併上下水道課長（齋藤隆生）

河野委員の質問にお答えいたします。委員おっしゃるとおり、管路のストックマネジメント計画、今までは施設のストックマネジメント計画しか作っておりませんでした。今、処理場整備を行っているので、管路の耐震化、更新を行うためには、このストックマネジメント計画が必要になります。ですので、この計画を令和7年度に作って、今後、下水道事業の全体的な収支とかを見ながら事業着手に移行していく形になってきます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第30号議案についての質疑を終わります。以上で、上下水道課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時42分 休憩

午前11時43分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、保険健康課所管の議案審査を行います。第31号議案、令和7年度

白杵市国民健康保険特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 67～68 ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（広田精治）

1 点だけお聞きします。歳入の 1 番。国民健康保険税ですけども。滞納繰越分が、2, 567 万 7, 000 円あります。これは加入世帯でいえば何世帯分ですか。

◎税務課長（尾本 浩）

広田委員の質問にお答えいたします。国民健康保険税の滞納繰越分の世帯数ですが、令和 6 年 4 月 1 日時点の世帯数が、217 世帯となっております。以上です。

○委員（広田精治）

その一番古い発生年度はいつ分かれば。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前 11 時 51 分 休憩

午前 11 時 52 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎税務課長（尾本 浩）

広田委員の質問にお答えいたします。現在、一番過去の年度が何年度かということにつきましては、手元に資料がございませんので、また改めてお知らせしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

◎保険健康課長（川辺みさご）

先ほどの説明で 1 点修正をお願いいたします。ナンバー 16 の疾病予防費についてですが、私が 1, 684 万 4, 000 円といたしましたが、1, 688 万 4, 000 円の間違いであります。申し訳ございません。訂正をお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（安東鉄男）

歳出ナンバー１０、１１になろうかと思うんですが、国のほうの高額療養費。今、国会でもめているというか、石破総理が先送りしたとこなんですが、それは、限度額が上がった場合、市の負担というのは、どの程度ですか。

◎保険健康課長（川辺みさご）

安東委員の質問にお答えいたします。高額療養費の限度額がもし上がった場合、というところなんですが、その場合は、被保険者の方々の負担が増えて市の負担額は減ってきます。ただ、所得に応じて変わってきますので、具体的な数字については今持ち合わせていません。以上です。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

○委員（安東鉄男）

ありがとうございました。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第３１号議案についての質疑を終わります。次に、第３３号議案、令和７年度白杵市後期高齢者医療特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和７年度 当初予算重点事項説明資料 ６９ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第３３号議案についての質疑を終わります。以上で、保険健康課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前１１時５６分 休憩

午前１１時５７分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に高齢者支援課所管の議案質疑の審査を行います。第３２号議案、令和

7 年度臼杵市介護保険特別会計予算を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和 7 年度 当初予算重点事項説明資料 70～72 ページに基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、第 32 号議案についての質疑を終わります。以上で高齢者支援課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで、休憩に入ります。午後 1 時より再開いたします。

午後 0 時 04 分 休憩

午後 0 時 57 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。ただいま広田委員から、第 28 号議案、令和 7 年度臼杵市一般会計予算に対し修正案が提出されております。内容確認と配付資料の準備のため、暫時休憩いたします。

午後 0 時 57 分 休憩

午後 0 時 59 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。広田委員から趣旨の説明を求めます。

○委員（広田精治）

ありがとうございます。それでは、私のほうから説明をしたいと思います。修正案は、歳出の一部を修正するという提案です。その内容は、歳出の民生費のうち社会福祉費の需用費、消耗品費の一部 66 万円。教育費の教育振興費の需用費や消耗品費の一部 8 万 6,000 円。これを削除して、その削除額全額を予備費に振り替えるという内容のものです。理由について申し上げます。お手元にありますので読み上げたいと思います。当初予算には、部落解放同盟の発行する広報紙誌である月刊部落解放 800 冊、解放新聞 19 部を公費によって購入するもの

となっています。月刊部落解放は、市役所の各職場、公民館、小学校、中学校に配布されています。この支出は、以下に示すように、市民や納税者の理解が得られるものではないというふうに考えています。第一に、広報紙誌を発行する同盟は民間の運動団体であり、広報紙誌の購入とはいえ、その業務収益は運動団体の重要な収入源となっており、行政が公費を投入して購入することは、行政の中立性、公正の原則から逸脱するものだと考えています。

二つ目、同盟は独自の理論を持っています。方針を掲げて活動しています。発行する広報紙誌を通じて理論を展開しています。行政がその広報趣旨を公費によって、1部、2部を参考資料として購入するなら別ですけども、定期的に大量に購入するという行為は、行政がその理論と運動にお墨つきを与える、これを支持するということにつながると考えます。

最後に、本市が課題としている事業は多岐にわたります。人権擁護啓発の取組もその一つであり、今最も注目され、広がっているジェンダーギャップの解消をはじめ、外国人差別、障がい者差別、高齢者差別などから人権を守る行政が求められています。こうした本市と同じ課題を掲げて運動する民間団体のどこも広報活動を行っています。なぜ部落解放同盟の広報紙誌だけを特別扱いをして大量に購入するのか。これは行政の財政支出における中立公正の観点から、市民のこの疑問に到底答えることはできないと思います。付け加えれば、宇佐市は、こういうことを既にやめました。私は、こうした特別扱いを部落解放同盟に対して行うことは、かえって市民の目が団体に向けられ、部落差別をなくす、この運動や方向をそらして、誤らせるものにつながると、そういうふうに思ってる。したがって、こういった不公正な支出と思われるものは、やっぱり直ちに臼杵市においても廃止すべきだというふうに考えていることから、この修正案を提案しました。ぜひ部落差別を本当になくしていこうと、もう本当に基本的になくなって、あと残す僅かなインターネットの書き込みとかそういうところ限定されて、実質的な結婚あるいは就職に対するような実害のあるような差別はもう基本的に法務局の発表でもないわけですから。ぜひ、本当に残された部落差別を一掃するためにどうしたらいいかということを実際に考えてほしい。ぜひ委員の皆さんのご賛同を心からお願いして、私の提案といたします。

○委員長（匹田 郁）

以上で、説明が終わりましたので、修正案熟読のため、暫時休憩いたします。

午後1時05分 休憩

午後1時10分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。これより、ただいま提出された第28号議案、令和7年度臼杵市一般会計予算に対する修正案について質疑を行います。質疑のある方は挙手をお願いします。

○委員（大塚州章）

まず、先ほどの修正案の中の説明文の理由の中の1番で、民間の団体であり、業務収益や団体の重要な収入源となっております、というのが、これはちょっと私の感覚では分からない。判断がつかないというのが一つ。それから、この同盟の収入源になってるかどうかとも分からないし、同盟が発行する広報誌の中では、多岐のものを扱ってると思うんですが、ジェンダーギャップ、人権擁護とかも扱ってるんじゃないかなと思うんですが、それについては、どうなのかというのがちょっと私の中では、分からないので教えていただきたいと思います。

○委員（広田精治）

大塚委員の質問に答えたいと思います。正確に申し上げれば、部落解放同盟が、部落解放という月刊誌の直接の発行人ではありません。部落解放同盟がつくった、月刊部落解放出版社、ちょっと今、私は手元に資料ないから分かんんですけど、そういうところが発行している。例えば共産党で言えば、赤旗新聞は赤旗新聞の編集部が発行している、と同じように、その組織が母体になって作った機関紙誌ということです。もう一つは収入源になってるという意味ですが、それはもう全国的に全国各地で、この団体が発行している機関誌や月刊誌ですから、かなり大量な発行して販売、収入があり、それに伴う必要経費があるということで、収益費になっているという意味です。もちろん差別撤廃人権問題に取り組んでいる団体ですから、ジェンダーギャップの解消も求めて運動してると思いますし、様々な地域の差別問題にも取り組んでいるということは、間違いないと思います。

○委員長（匹田 郁）

大塚委員、よろしいですか。

○委員（大塚州章）

はい、いいです。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（匹田久美子）

部落差別もどんどん形を変えて、具体的にはインターネットの中に潜ってというか、そういうふうに変化が来ていて、人の意識も変わって、部落を差別することへの意識も薄れてきているので、こういう昭和から続いているやり方に対して、議論は必要だとは思っています。でも、2016年の部落差別解消推進法の中では、国は、部落差別はまだ我が国独自の差別としてある。と、法律の中で明言していることと、あと、先ほどご説明の中で法務局は、結婚や就職に関するような差別ももうないと言っている、という口頭での説明がありましたけど。白杵市の意識調査を見ても、数字はちょっと思い出せないんですけど、自分の子供とか家族が部落出身者の方と結婚したいといったときどうしますか、みたいな設問があったと思うんです。明らかな反対は多分1桁。でも、本意ではないが、あえて反対はしないみたいな、消極的な差別意識はまだ残っていると思っていて。なので、もうないと断定するような理由もないかなと

思っていますが、いかがですか。

○委員（広田精治）

2つあったと思うんです。後のほうから先に言いますと、法務省の発表というのは、去年の全国調査に基づくホームページ上の数字です。具体的に差別事象について調査をした結果です。それについて、結婚とか、あるいは就職とか、こういうことに対する個別差別問題というのはないと。もちろんそれ以外、今言われたようなネットの書き込みとか、そういうのはちゃんとあるということです。しかし、もうそれもね、もう極めて数%にも満たないような少ない数字が法務省から発表されてるんで、それはぜひ、ご覧になっていただきたい。この場では示せないんですけど。それと私も、部落差別が完全になくなっていくとは決して思いません。国が33年間続いて16兆円もの公費国費を通じて、そういう旧差別されてきた地域の皆さんのための対策事業としてやってきた。それが、もう必要ないというところまでこの差別問題は前進してきてると。国民の皆さんの、あるいは様々な団体の努力によって、そこまで進んできてると。ただ、現状は、国も残滓という表現使っているんです。平たく言えば残りかすということですけども。基本的には解決してるけども、まだ残滓と呼ばれるようなものがある。ここまですすために、やっぱり、部落差別解消推進法が制定されたときに、参議院の法務委員会が特別決議をしています。中には、やはり差別を新たにつくり出すような、そういうふうな行為は厳に慎まんといかんというようなことが書かれていて、ということなんですよ。だからやっぱり今は、本当になくすためにはどうするかという、全国民的な議論を避けなくて、みんなでぎくばらんに議論することが大事だと。もし今、この時代に、仮に、表現が良いか分からないけども、指さして、あの人が旧部落民の出身者だとかいうことを言えば、そういうことを聞いた人はどう思うか。ああ、そうなのじゃないですよ。あんたなんということを今の時代に言ってるのかと。そんなばかなこと。というのがね、今の社会の空気までなってるというのが、国の基本的な判断で同和対策事業をやめたわけですよ。そこ辺、いろいろ私はそう思うけども、いろんな考えがあると思うんですよ。それはやっぱり、自由に議論しながら、どうやって完全になくすかということに取り組んでいけばいいと思うんです。ただ私は、1つの団体だけの定期刊行物を大量に購入する。僕は本会議でも言いましたけども、その法制団体が発行するものなら、法に基づいて作られた団体が法の認める範囲で運動している。それに伴って発行する雑誌であればね、それはむしろ買って普及することが大事だと思うけども、1つの民間団体であるから、私はそういうことを特別扱いしたら、ほかの団体、障がい者差別をなくすための団体とか、そういう団体の人たちに対して顔向けできない。なぜ、こういう特別な扱いをするのかとなるんじゃないかと。それはむしろ逆に、部落解放同盟が差別をなくそうとして運動してるのであれば、やっぱり慎むべきであるというふう思うんです。ちょっと答えになってるかどうか分からんです。

○委員（大塚州章）

もう一つ教えてください。今、広田委員が言った1つの団体にというふうにおっしゃってま

した。先ほどの広田委員の回答の中でも１６兆円の国の対策がもう必要ないところまで来ると。だけど、過去には必要があったから、１つの民間団体に委託してやってこられたんだと思うので、その辺がもう必要なくなったから、この発行紙は要らないっていうふうな理論でよろしいですかね。それとも、過去からこれはもう１６兆円、間違いだったという意味ですかね。

○委員（広田精治）

誤解があると思うんですけども。１６兆円というのは、同和対策事業に費やした、投下した国費なんです。だからそれは、例えば同和住宅を建設するとか、あるいは、その地域の道路が未整備だから、これをちゃんとしようと言って税金を投入するとか、そういうことに使った国費です。１６兆円。決して、特定の団体などに交付したとかいうそういうお金じゃありませんから。事業として、どこの自治体も取り組んだ、大規模に取り組んだ地域改善対策事業に費やしたお金が１６兆円、そういう意味です。

○委員長（匹田 郁）

大塚委員、よろしいですか。

（ 「はい」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

それでは、修正案に対する質疑を終わります。これより、第２８号議案、令和７年度臼杵市一般会計予算及びこれに対する修正案を一括して討論に入ります。討論のある方は挙手をお願いします。

○委員（大塚州章）

私は今のお話を聞いた中でちょっと不透明なところがありますので、修正案には反対の立場で、原案のとおりで行っていただきたいなと思います。

○委員（甲斐 尊）

私もちょっと、原案のとおりお願いしたいと思います。その理由は、２０１６年に部落差別解消推進法、これが制定されて、この中の第１条で部落差別はあるんだとしております。その中で、第何条か忘れましたが、国・地方公共団体がそれに取り組む責務が明確にされております。恐らく私が解するに、その一環として、臼杵市もこの冊子を継続して購入することによって、ある意味、地方公共団体の責務を明らかにする取組の一つとしてのこれまでの購読があるろうかと思ってますので、そういう意味で私は、この修正案については反対をいたします。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

これより採決を行います。第２８号議案に対する修正案に賛成の方の起立を求めます。

（ 起立少数 ）

○委員長（匹田 郁）

お座りください。起立少数であります。よって、修正案については否決されました。続いて、第２８号議案について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（ 起立多数 ）

○委員長（匹田 郁）

お座りください。起立多数であります。よって、原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で第２８号議案についての議案審査を終わります。

次に特別会計に入ります。特別会計の第２９号議案から第３３号議案までは、一括して討論を行います。

（ な し ）

○委員長（匹田 郁）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。特別会計第２９号議案から第３３号議案については、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

異議なしと認めます。よって第２９号議案から第３３号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で第２９号議案から第３３号議案についての議案審査を終わります。以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。

予算委員会を閉会いたします。

午後１時２７分 閉会

白杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和７年３月１８日

白杵市議会

予算委員会委員長 匹田 郁